

会 議	期 日	主 要 議 題
第7回検討委員会	元・1	○教員研修計画、機器整備の 在り方、方針について ○「基本計画」(素案)の検 討

(3) 構 成 員

総務課	課長 主幹 主任管理主事 事務担当者
財務課	主幹兼課長補佐 経理第一係長 施設係長
義務教育課	主幹(指導) 主任指導主事 指導主事
高等学校教育課	主幹(指導) 主任指導主事 指導主事
養護教育課	主幹兼課長補佐 主任指導主事 指導主事
教育センター	科学技術部長 情報処理係長

5 教員の資質向上連絡協議会

- (1) 大学、教育委員会、学校の連携、協力をより緊密なものとするため、教員の養成・採用・研修に係る協議を行い、教員の資質能力の向上に資するものである。

(2) 協議会の経過

回	期 日	場 所	主 要 議 事 内 容
第1回	63. 11. 14	自治会館 301号室	○北海道・東北地区協議会の概要報告 ○教員の採用に係る諸問題について
第2回	元・2. 15	自治会館 302号室	○教育実習受入れ状況について ○教員の現職研修と大学における教員養成との関連について

(3) 構 成 員

- ① 大学関係者……11名
福島大学 日本大学 郡山女子大学 いわき明星大学
桜の聖母短期大学 福島女子短期大学 いわき短期大学 会津短期大学
- ② 学校関係者……5名
県小学校長会長 県中学校長会長 県高等学校長協会
長 県養護学校長会長 私立中学高等学校長協会
長
- ③ 教育委員会……7名
県教育次長 総務課長 義務教育課長 高等学校教育
課長 養護教育課長 県都市教育長協議会長
県町村教育長協議会長

6 初任者研修の試行

(1) 目 的

初任者研修の試行(以下、「試行」という。)は、新任

教員に対して、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させることを目的とする初任者研修制度の円滑な実施を図るため、新任教員の一部を対象として研修を実施し、その内容・方法等の効果的な在り方を究明することを目的とする。

(2) 期 間

昭和63年4月1日～平成元年3月31日

(3) 指 定 校 数、指 導 教 員 数、対 象 教 員 数

校種	区分	指 定 校	対 象 教 員	指 導 教 員
		小 学 校	16校	25人
中 学 校		19校	30人	30人
高 等 学 校		6校	15人	13人
盲・聾・養護学校		2校	3人	3人
計		43校	73人	71人

(4) 福 島 県 初 任 者 研 修 試 行 実 施 協 議 会

① 試行実施協議会委員一覧

区分	職 名	氏 名
教 育 庁	福島県教育庁教育次長	早 川 俊 一
	“ 総務課長	清 木 孝 悦
	“ 義務教育課長	戸 田 満 夫
	“ 高等学校教育課長	安 原 滋
	“ 養護教育課長	服 部 秀 文
教 機 育 関	県教育センター所長	皆 川 郁 夫
	県養護教育センター所長	嶋 原 弥
市 委 員 会 教 育 係	福島市教育委員会教育長	箭 内 洪 一 郎
	会津若松市教委教育長	星 輝 雄
	梁川町教育委員会教育長	蓬 田 弘
関 係 校 校 長 及 び 各 校 長 会 長	泉崎第二小学校長	村 越 英 夫
	湯本第一小学校長	高 木 清
	郡山第一中学校長	原 堅
	若松女子高等学校長	遠 藤 孝
	小 学 校 長 会 長	村 岡 房 之 助
	中 学 校 長 会 長	佐 藤 寛
	高 等 学 校 長 協 会 長	折 笠 常 弘
養護教育学校長会長	小 松 忠 夫	
学 経 験 識 者	福 島 大 学 教 授	庄 司 他 人 男
	県社会教育委員の会議長	鈴 木 完 一

② 主 な 活 動

昭和63年4月26日 試行実施校校長等協議会

昭和63年5月11日 第1回試行実施協議会